

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	①次世代型交通環境の形成
			施策の小項目名	○自動運転等の新技術導入に向けた取組の促進
主な取組	自動運転移動サービスの導入促進		対応する成果指標	電動車 (EV・PHV) 普及率
施策の方向	<p>・人々のライフスタイルの変化に対応するため、自動運転技術、MaaS、ドローン等の新技術の導入を促進するとともに、新技術等の基盤となる公共交通情報等のオープンデータを継続的に利用できる環境の構築に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
自動運転移動サービスの導入に向け、市町村との意見交換会の開催や、市町村向けの情報発信を行い、導入を促進する。	県,市町村等	自動運転移動サービス導入に向けた市町村向け意見交換会の開催や情報発信		
		市町村向け意見交換会の開催数及び情報発信回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課	【 098-866-2384 】	関連URL	—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
-	-			-	-	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
自動運転移動サービス導入に向けた市町村向けの情報発信を2回を行った。				自動運転移動サービス導入に向けた市町村向けの意見交換会の開催や情報発信を行う。		

活動指標名	市町村向け意見交換会の開催数及び情報発信回数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-	6回 (6回)	2回 (8回)	2回 (4回)	100.0%	順調	自動運転移動サービス導入に向けた市町村向けの情報発信を2回を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和5年度は他県の実装事例を含めた情報発信を市町村へ向けて2回行っており、累計の目標値4回に対し8回実施しており、進捗状況は順調である。

令和5年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ○ 他の都道府県における同規模の自治体での事例や地域の課題解決につながった事例など、市町村内での機運醸成に繋がる情報提供を行う。 ○ 市町村の担当者変更などに影響がないよう、毎年度、意見交換会を開催し、国からの支援制度の情報なども継続的に提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市街地だけでなく、本県の離島地域のような過疎地域の規模の小さい自治体の事例等を含めて情報提供を行った。 ○ 国からの支援制度の情報提供を行ったが、意見交換会の開催には至らなかった。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和5年度の進捗状況は順調であるが、導入に至った市町村が無いことから、市町村に対し、引き続き取り組みへの理解を深める必要がある。	⑧ その他	市町村の抱える課題等の把握のためアンケートの実施を検討する。
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和5年度は意見交換会の開催が無かったことから、令和6年度は市町村の意向も踏まえて開催を検討する。	⑧ その他	令和6年度は市町村の意見を確認しながら意見交換会の開催を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	①次世代型交通環境の形成
			施策の小項目名	〇公・民・学連携によるまちづくりの促進
主な取組	公・民・学の連携による交通・まちづくりの取組促進		対応する成果指標	電動車 (EV・PHV) 普及率
施策の方向	・本県の地域実情に応じたスマートシティの形成を念頭に、SDGsやSociety5.0に対応する地域と交通のあり方の調査研究について、公・民・学が連携する体制を構築し、包括的・継続的に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
Society5.0等に対応する地域や交通・まちづくりに向けた、公・民・学の連携による実証実験や先導的な取組等へ参画する。	県,市町村等	Society5.0等に対応する地域や交通・まちづくりに向けた、公・民・学の連携による実証事業や先導的な取組等への参画			
		参画する取組等の数(内訳)			
		1件	1件(継続1件)	1件(継続1件)	
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課		【 098-866-2384 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
—	—			主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
地域振興・公民連携に係る支援制度および先進事例等の情報収集や勉強会の実施。地域の交通・まちづくりに向けた取組について参画した。				地域振興・公民連携に係る支援制度および先進事例等の情報収集を行う。引き続き取組に参画する。		

活動指標名	参画する取組等の数 (内訳)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	0件	1件	1件 (継続1件)	100.0%	順調	PFI制度活用を検討している大型MICEエリアの協議会等の構成員として、地域の交通・まちづくりに向けた取組に参画した。県有施設へのPPP・PFIの利活用に向けた情報収集や発信、勉強会等を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

PFI制度活用を検討している大型MICEエリアの協議会等の構成員として、地域の交通・まちづくりに向けた取組に参画したことから、順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 地域の課題抽出や、公・民・学の連携まで展開しそうな取組について広く情報を収集し、課題解決のための交通・まちづくりに有効な取組の検討を行う。	公・民・学の連携まで展開しそうな取組について情報を収集し、課題解決のための交通・まちづくりに有効な取組について参画した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	Society5.0等に対応していく上で、どのような課題があるか把握する必要がある。	⑧ その他	引き続き協議会等に参加し、Society5.0等に対応する地域や交通・まちづくりに向けて課題等の把握に向けて情報収集を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	①次世代型交通環境の形成
			施策の小項目名	○脱炭素社会に向けた多様なモビリティの利用促進
主な取組	パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進		対応する成果指標	電動車（EV・PHV）普及率
施策の方向	・人口が集中する本島中南部地域においては、公共交通利用や多様なモビリティを利用するライフスタイルへの転換に向けて、バス、モノレール、カーシェアリング、自転車利用、コミュニティバス、福祉交通等の移動抵抗の小さい交通手段の導入やパーク・アンド・ライドの利用の促進等に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
パンフレットの配布等の周知活動により、パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進を図る。	県	パンフレットの配布等の周知活動によるパーク・アンド・ライドの利用促進		
		パンフレット配布回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)							
(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名	都市モノレール利用推進事業費			予算事業名	-		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
県単等	委託	1,217	0	主な財源	実施方法	当初予算額	
				-	-	0	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
指定管理者による駐車場の管理・運営の取り組みとして、利用促進に向けた広報活動を行った。				引き続き指定管理者において、パンフレットの配布等、幅広い方法で周知活動に取り組み、パーク・アンド・ライド駐車場の利用促進を図る。			
活動指標名	パンフレット配布回数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	1回	1回	1回 (2回)	100.0%	順調	R5年度はパンフレットを1回配布予定であったが、パンフレットに代わりデジタルサイネージによる周知活動を行った。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
R5年度はパンフレットを1回配布予定であったが、パンフレットに代わり、デジタルサイネージによる周知活動を行った。こうした周知活動の効果等もあって、R5年度の同駐車場の定期利用率は94%に達し、駐車場入庫台数は199,393台とR6年度目標値を上回る状況となっており、同駐車場の利用促進は順調に進捗している。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和5年度の取組改善案				反映状況			
・今後の利用者のさらなる増加に対応するため、キャッシュレス精算の導入やカーナビ等を利用した駐車場情報 (満車空車情報) の提供を実施する。				・定期駐車券の販売やサービス券等の窓口販売においてキャッシュレス精算を導入し、利用者の利便性向上に取り組んだ。			

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	・利用者の増加に伴い、キャッシュレス精算の拡充など、 様々な要望が利用者から挙がっている。	⑥ 変化に対応した取 組の改善	・一般駐車についてもキャッシュレス精算を導入し、更なる 利便性向上に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	②公共交通システムの戦略的再編
			施策の小項目名	○沖縄都市モノレールの輸送力増強
主な取組	沖縄都市モノレール輸送力増強事業		対応する成果指標	公共交通利用者数
施策の方向	・過度な自家用車利用から公共交通利用への転換を図るため、定時速達性に優れた幹線公共交通機関としてモノレールの輸送力の増強に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
沖縄都市モノレールの時間当たりの最大混雑率を120%未満に抑えるため、2両1編成の車両を3両1編成化し、輸送力の増強を図る。また、これと併せて車両を留置する新車両基地を整備する。	県,那覇市,浦添市,事業者	輸送力増強に向けた3両編成車両の整備(車両整備、新車両基地整備、既存駅舎の改築等)			
		3両編成車両運行開始数(累計)			
		—	2編成	2編成(4編成)	
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課		【 098-866-2408 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名 沖縄都市モノレール輸送力増強事業					予算事業名 沖縄都市モノレール輸送力増強事業				
主な財源		実施方法		R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
一括交付金 (ハード)		その他		6,584,108	6,194,040		主な財源		
							実施方法		
							当初予算額		
							一括交付金 (ハード)		
							その他		
							7,657,555		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
3両編成車両製造、可動安全柵設置工事、新車両基地工事を 実施した。					3両編成車両製造、新車両基地工事を実施する。				
予算事業名 沖縄都市モノレール輸送力増強事業 (インフラ部)					予算事業名 沖縄都市モノレール輸送力増強事業 (インフラ部)				
主な財源		実施方法		R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
一括交付金 (ハード)		直接実施		741,448	439,432		主な財源		
							実施方法		
							当初予算額		
							一括交付金 (ハード)		
							直接実施		
							275,264		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
分岐橋改修工事、下部工工事、上部工制作を実施した。					分岐器設置、上部工架設工事を実施する。				
活動指標名	3両編成車両運行開始数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要		
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
実績値	-	-	2編成	2編成	100.0%	順調	令和5年度は、3両編成車両2編成を運行開始し、輸送力を増強することで、利用者における定時定速性の確保および利便性の向上に取り組んだ。		

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和5年度の目標であった3両編成車両2編成の運行開始については、モノレール開業20周年式典の開催と併せて3両編成車両2編成分を運行開始し、目標を達成した。今後利用者の方々の更なる増加が見込まれることから、新車両基地の整備等に取り組み、残りの3両編成車両の一日も早い運行開始を実現し、利便性の向上を推進する。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業主体である運行事業者と3両編成車両の運行開始に係るリスク要因の把握に勤め、適宜調整等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行事業者と3両編成車両の運行開始に係る調整を密に実施し、課題や問題点を早急に解決したことにより、モノレール開業20周年記念日である8月10日に3両編成車両の運行を開始した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残りの3両車両編成の運行開始に係る工事のため、運航停止を行う可能性があることから毎月1回程度、運行事業者と調整を実施しているが、リスク要因の把握に時間を要している。 	② 連携の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運行事業者や国、市町村等と連携を密にし、運行停止に係るリスク要因の把握に努めるとともに、運航停止を行う場合はできる限り利用者に影響が生じないように、停止期間の短縮や代替策の調整等を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	③花と緑にあふれる環境づくり
			施策の小項目名	○世界水準の観光地に相応しい沿道景観の形成
主な取組	沖縄フラワークリエイション事業		対応する成果指標	緑化活動団体数
施策の方向	・主要道路及び観光地へのアクセス道路等については、適正な植栽管理、飾花を行い、世界水準の観光地にふさわしい沿道景観の形成や、周辺環境と調和のとれた沖縄らしい風景づくりに重点的に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
・観光地への主要アクセス道路等について、花と緑のある良好な空間を創出し、道路景観の向上をする	県	観光地への主要アクセス道路等について、花と緑のある良好な空間を創出し、道路景観の向上			
		草花等による緑化・重点管理路線数(内訳)			
		41路線	41路線(継続41路線)	41路線(継続41路線)	
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課		【 098-866-2665 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名 沖縄フラワークリエイション事業				予算事業名 沖縄フラワークリエイション事業			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
				主な財源	実施方法		当初予算額
一括交付金 (ソフト)	委託	624,489	608,197	一括交付金 (ソフト)	委託	563,827	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
国際通りや首里城等の観光地へアクセスする41路線について、緑化(草花等)・重点管理を実施した。				観光地へアクセスする道路への緑化・重点管理を推進する。 計画値：41路線(継続)			
活動指標名	草花等による緑化・重点管理路線数(内訳)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	41路線	41路線	41路線	41路線(継続41路線)	100.0%	順調	国際通りや首里城等の観光地へアクセスする41路線について、緑化(草花等)・重点管理を実施した。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
計画41路線に対し、実績41路線となっており、順調に実施している。国際通りや首里城等の観光地へアクセスする41路線について、緑化(草花等)・重点管理を実施したことにより、観光地沖縄としてのイメージアップと温暖化防止に寄与できた。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和5年度の取組改善案				反映状況			
・年間を通して、草花等の生育状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花、アレロパシー植物等の植栽を行い、良好な沿道景観の向上を図る。				・草花等の生育管理を年間通じて実施した。また、植栽箇所の状況に応じ、花木や草花、アレロパシー植物等を選定し、植物が良好な状態を保てるよう灌水や植え替えなどの日常管理を行い、良好な沿道景観の向上へ寄与した。			

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	・ 沖縄観光のイメージアップのため、観光地までの主要アクセス道路について、年間を通して花と緑のある良好な道路空間を創出し、道路景観の向上と維持させる取り組みが求められている。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	・ 限られた予算で効果的・効率的な植栽管理を実施するため実効性のあるしくみづくりや道路ボランティア団体による住民と行政の協働による「美しい道路環境づくり」を推進する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	③花と緑にあふれる環境づくり
			施策の小項目名	○都市やグラウンド等の日陰づくり
主な取組	都市公園整備事業		対応する成果指標	緑化活動団体数
施策の方向	・都市やグラウンド等の日陰づくりを進め、紫外線による健康被害防止及び気候変動の進行に伴う熱中症被害防止を見据えたまちづくりの整備に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
災害時の避難場所、緑と触れあう憩いの場、レクリエーション活動の場としての都市公園整備を行う。	国,県,市町村	都市公園の整備推進			
		都市公園の供用面積(整備面積)(累計)			
		12.2ha(1,565ha)	12.2ha(1,577.2ha)	12.2ha(1,589.4ha)	
担当部課【連絡先】	土木建築部都市公園課		【 098-866-2035 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名		公園費 (社会資本交付金)			予算事業名		公園費 (社会資本交付金)
主な財源	実施方法	R4年度	R5年度		R6年度		
		決算額	決算見込額		主な財源	実施方法	
内閣府計上	直接実施	1,237,610	799,496		内閣府計上	直接実施	2,112,268
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
<p>県営都市公園事業において、用地取得や園路、広場等の整備を6公園で行った。</p>					<p>県営都市公園事業において、用地取得や園路、広場等の整備を行う。</p>		
予算事業名		沖縄振興公共投資交付金 (都市公園課市町村事業)			予算事業名		沖縄振興公共投資交付金 (都市公園課市町村事業)
主な財源	実施方法	R4年度	R5年度		R6年度		
		決算額	決算見込額		主な財源	実施方法	
一括交付金 (ハード)	その他	426,591	596,080		一括交付金 (ハード)	その他	854,842
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
<p>県は、市町村都市公園事業に対して、用地取得や園路、広場等の整備を行うための補助を16市町村に行った。</p>					<p>県は、市町村都市公園事業に対して、用地取得や園路、広場等の整備を行うための補助を行う。</p>		
活動指標名	都市公園の供用面積 (整備面積) (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	1,535ha	10.0ha (1,545ha)	10.0ha (1,555ha)	12.2ha (1,577.2ha)	82.0%	概ね順調	<p>県営都市公園及び市町村都市公園において、災害時の避難場所、緑と触れあう憩いの場、レクリエーション活動の場の創出に向けて用地取得や園路、広場等の整備を行った。</p>

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>県営都市公園及び市町村都市公園において、災害時の避難場所、緑と触れあう憩いの場、レクリエーション活動の場の創出に向けて用地取得や園路、広場等の整備をしたことにより、都市公園の供用面積が計画値1,577haに対し実績値1,555haとなっており、概ね順調である。</p>	
<p>(2) これまでの改善案の反映状況</p>	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○ 公園用地取得に向け、地権者等の同意が得られるよう粘り強く交渉を続けるとともに、市町村を通じて地元関係者等の協力を得ながら事業を推進する。 ○ 整備の効果が早期に発現できるよう部分的な供用開始に取り組む。</p>	<p>○ 公園整備の効果を早期に発現させるため、市町村を通じて地元関係者等の協力を得ながら円滑な公園整備に努め、さらに一部完成した公園については部分的な供用開始に取り組み、供用面積を増加することができた。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	公園用地の取得に長時間を要することから、地権者等の同意が早期に得られるよう、市町村を通じて地元関係者等の協力を得ながら事業を推進する必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	整備の効果を早期に発現させるため、部分的な供用開始も含めた効率的かつ効果的な整備に努める必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	公園用地取得に向け、地権者等の同意が得られるよう粘り強く交渉を続けるとともに、市町村を通じて地元関係者等の協力を得ながら事業を推進する。
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	整備の効果が早期に発現できるよう部分的な供用開始に取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	④歩いて暮らせる環境づくり
			施策の小項目名	〇コンパクトなまちづくりの促進
主な取組	住民参加型都市計画マスタープランの策定の促進		対応する成果指標	歩いていける身近な都市公園(街区公園)箇所数
施策の方向	・コンパクトなまちづくりを図るため、都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に集約し、その周辺や公共交通の沿線等に居住の誘導が図られるよう、市町村の取組を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
都市計画法に基づく市町村の都市計画マスタープラン及び地区計画策定等に向けた、地域の現状と課題に対する調査、住民意見の聴取、合意形成の活動等の取り組みを支援する。	県,市町村	都市計画区域をもつ21市町村における、住民参加型都市計画マスタープラン策定の支援		
		県・市町村調整会議数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—			—	—	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
3市町と都市計画マスタープラン改定に向けた調整を行った (嘉手納町、糸満市、南城市)。				各市町村と都市計画マスタープラン改定に向けた調整を行 う。		

活動指標名	県・市町村調整会議数 (累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	1回	1回	1回 (2回)	100.0%	順調	3市町と都市計画マスタープラン改定に向けた調 整を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

マスタープラン等の策定及び改定を検討する市町村と、適宜意見交換を行い、今後の都市関連施策の検討状況を把握できた。
本取り組みを進めることで、市町村のまちづくりに対する理解が深まり、住民にとってより身近で分かりやすいまちづくりに寄与する。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
マスタープラン等の策定および改定を検討する市町村と、適宜意見交換を実施する。 意見交換時には、今後の都市計画関連施策の検討状況を把握する。	マスタープラン等の策定及び改定を検討する市町村と、意見交換を適宜行った。 また、意見交換時には、今後の都市計画関連施策の検討状況を把握した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	マスタープラン等の策定及び改定を検討する際に、立地適正化計画の策定も同時に進める必要があるため、良好な事例の周知についてさらに各市町村へ広げていく必要がある。	② 連携の強化・改善	引き続き、マスタープラン等の策定および改定を検討する市町村と、適宜意見交換を実施し、県外の良好な事例を市町村へ情報共有することで、意識向上を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	④歩いて暮らせる環境づくり
			施策の小項目名	〇コンパクトなまちづくりの促進
主な取組	土地区画整理事業等		対応する成果指標	歩いていける身近な都市公園（街区公園）箇所数
施策の方向	・コンパクトなまちづくりを図るため、都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に集約し、その周辺や公共交通の沿線等に居住の誘導が図られるよう、市町村の取組を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
都市計画区域内の土地について、土地区画整理事業を活用し、道路、公園等の公共施設の整備改善と良好な宅地の利用増進を図り、健全な市街地形成を図る。	市町村,組合等	道路、公園等の公共施設の整備改善と良好な宅地の利用増進		
		土地区画整理事業により整備された宅地面積(累計)		
		10ha	10ha(20ha)	10ha(30ha)
担当部課【連絡先】	土木建築部都市計画・モノレール課 【 098-866-2408 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名 沖縄振興公共投資交付金					予算事業名 沖縄振興公共投資交付金				
主な財源		実施方法		R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
一括交付金 (ハード)		直接実施		1,158,667	1,209,012		主な財源 実施方法 当初予算額		
一括交付金 (ハード)		直接実施		1,158,667	1,209,012		一括交付金 (ハード) 直接実施 1,188,227		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
宅地造成、道路築造及び建物の移転補償等を行った。 (浦添南第一地区等 10地区)					前年度に引き続き、宅地造成、道路築造及び建物の移転補償等を行う。 (浦添南第一地区等 10地区 ※繰越地区含む)				
予算事業名 社会資本整備総合交付金					予算事業名 社会資本整備総合交付金				
主な財源		実施方法		R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
内閣府計上		直接実施		1,780,759	1,295,922		主な財源 実施方法 当初予算額		
内閣府計上		直接実施		1,780,759	1,295,922		内閣府計上 直接実施 896,409		
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画				
宅地造成、道路築造及び建物の移転補償等を行う。 (西普天間住宅地区等 3地区)					宅地造成、道路築造及び建物の移転補償等を行う。 (西普天間住宅地区等 4地区)				
活動指標名	土地区画整理事業により整備された宅地面積(累計)			R5年度			進捗状況	活動概要	
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B				
	11ha	23ha	26ha	10ha (20ha)	100.0%				
								浦添南第一地区等13地区の宅地造成、道路築造及び建物の移転補償等を促進した。	

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和5年度実績値は目標値を大幅に上回っており、宅地造成工事は順調に進んでいる。一部地権者の合意形成に時間を要していること等により、成果指標の根拠となる使用収益の開始に至ってはいないが造成が完了している地区もあることから、今後も順調な宅地供給が見込まれる。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ○ 土地区画整理事業については、複数年度継続して行われるため、定期的に住民説明会など行い、事業内容や必要性等への理解を得ることにより、地権者交渉を円滑に進める。 ○ 直接施行を考慮した工程管理の検討を進める。 ○ 保留地を早期に処分できるよう、工事及び補償について優先順位を定め、細かな工程管理に留意した工程表に見直すよう施行者に指導を行い、問題意識の共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民説明会など地権者合意形成の取組強化を指導することにより、地権者交渉を円滑に進められるようになった。 ○ 令和5年度に直接施行を行った地区はないが、令和6年度以降に実施する計画をたてた工程とし、事業完了の目処がたった。 ○ 工程表の見直しを行うことにより、保留地の早期処分が図られるようになった。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	換地計画に基づき補償を行うことから、換地先に不満がある地権者との交渉に不測の時間を要している。
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	住民ニーズの高まりにより、区画整理地区内における、無電柱化や擁壁の追加等が発生した場合、資金計画及び事業計画の見直しが必要となり、事業完了が遅れるおそれがある。
⑦ その他 (改善余地の検証等)	移転協議が難航している物件がある場合は、直接施行移転 (除去) 等の検討を行い、目標とする宅地面積の達成に向けて施行者と連携を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	土地区画整理事業については、複数年度継続して行われるため、定期的に住民説明会など行い、事業内容や必要性等への理解を得ることにより、地権者交渉を円滑に進める。
⑦ 取組の時期・対象の改善	直接施行を考慮した工程管理の検討を進める。
⑦ 取組の時期・対象の改善	保留地を早期に処分できるよう、工事及び補償について優先順位を定め、細かな工程管理に留意した工程表に見直すよう施行者に指導を行い、問題意識の共有を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	④歩いて暮らせる環境づくり
			施策の小項目名	○身近な場所で充実した生活環境の創出
主な取組	街路整備事業（県管理道路）		対応する成果指標	歩いていける身近な都市公園（街区公園）箇所数
施策の方向	<p>・誰もが身近な場所で充実した活動ができるよう、商店街や中心市街地の活性化により賑わいを創出するとともに、土地区画整理事業、市街地再開発事業、街路整備事業、公園整備事業等により、公共施設や宅地の一体的整備、土地の高度利用化に取り組みます。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
<p>安全で快適なゆとりある道路空間を創出するとともに、交通渋滞を緩和し、物流・交通流の円滑化を図るために、4車線拡幅、歩道の設置、緑陰の形成、無電柱化等を行う街路事業を推進する。</p>	<p>県</p>	<p>胡屋泡瀬線、真地久茂地線外1、豊見城中央線外1線等の整備</p>			
		<p>整備済延長(累計)</p>			
		<p>整備実施</p>	<p>0.74km</p>	<p>0.02km(0.76km)</p>	
担当部課【連絡先】	土木建築部道路街路課		【 098-866-2390 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名 沖縄振興公共投資交付金事業費（街路）				予算事業名 沖縄振興公共投資交付金事業費（街路）			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		当初予算額	
				主な財源	実施方法		
一括交付金 （ハード）	直接実施	1,973,187	1,455,700	一括交付金 （ハード）	直接実施	2,361,581	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
真地久茂地線外1線（用地補償等）、県道24号線バイパス（用地補償等）、城間前田線（街路工事等）、龍潭線（街路工事等）等の整備を行った。				真地久茂地線外1線（街路工事等）、豊見城中央線（用地補償等）、那覇内環状線（街路工事等）、龍潭線（街路工事等）等の整備を行う。			
活動指標名	整備済延長（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	整備実施	整備実施	0.7km	0.74km	94.5%	順調	真地久茂地線外1線（用地補償等）、県道24号線バイパス（用地補償等）、城間前田線（街路工事等）、龍潭線（街路工事等）等の整備を行った。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
各路線の整備は概ね計画通りに進められているものの、一部路線で遅れが生じている。取組の効果として、安全でゆとりある道路空間の創出に寄与する。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和5年度の取組改善案				反映状況			
事業箇所の交通渋滞状況や周辺道路ネットワークの整備状況等を踏まえ、早期効果発現に寄与する計画的な用地取得、街路工事及び資金配分計画を検討する。				事業箇所の交通渋滞状況や周辺道路ネットワーク状況等を踏まえて、早期効果発現に寄与する資産配分計画の構築を図った。			

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	事業の早期効果発現を図るため、計画的な用地取得・街路工事及びこれに伴う資金配分計画について検討する。	① 執行体制の改善	事業箇所の交通渋滞状況や周辺道路ネットワークの整備状況を踏まえて、早期効果発現に寄与する資金配分計画の構築を図る。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	④歩いて暮らせる環境づくり
			施策の小項目名	○道路空間の適正な管理
主な取組	主要道路における雑草・街路樹の適正管理		対応する成果指標	歩いていける身近な都市公園（街区公園）箇所数
施策の方向	・身体障害者、高齢者、子どもなど誰もが安全で快適に移動できる空間を創出するため、街路樹を含む歩道空間の適正な管理等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
主要道路において、除草や街路樹剪定等の植栽管理を実施する。	県	主要道路における除草や街路樹選定等の植栽管理の実施			
		年中、安全上支障がない草丈に維持されている路線数(内訳)			
		40路線	45路線(新規5路線、継続40路線、累計45路線)	50路線(新規5路線、継続45路線、累計50路線)	
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課		【 098-866-2665 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)



2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 県単道路維持費				予算事業名 県単道路維持費		
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
				主な財源	実施方法	
県単等	委託	1,113,527	1,143,513	県単等	委託	1,124,102
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
主要道路の45路線において、性能規定方式による道路除草管理を実施し、年中安全上支障がない草丈の維持を行った。				主要道路の50路線において、性能規定方式による道路除草管理を実施し、年中安全上支障がない草丈の維持を行う。		

活動指標名	年中、安全上支障がない草丈に維持されている路線数 (内訳)		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	290km	54路線	45路線	45路線 (新規5路線、継続40路線、累計45路線)	100.0%	順調	主要道路(45路線)において性能規定方式による道路除草管理を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>主要道路のうち、安全上支障がない草丈が年中維持されている路線数は、計画45路線に対し、実績45路線であったことから、取組は「順調」と判断した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・「沖縄県沿道景観向上技術ガイドライン」に基づいた性能規定方式による植栽管理を継続し、新たな雑草防除技術及び景観形成に有用な植物の導入等の検討を行い、性能規定方式の導入する路線の拡大に向けて、効果的・効率的な植栽管理を行う。 ・各土木事務所や造園業者による連絡協議会を実施し、有効な植栽管理の向上について検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに基づいた適正な管理に向けて、アレロパシー植物や防草シート等における実証実験のモニタリング調査を行い、効果的・効率的な植栽管理についてフォローアップと活用を図った。 ・各土木事務所や造園業者による連絡協議会を実施し、ガイドラインやモニタリング調査結果における有効な植栽管理手法等の情報共有などを行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の剪定について、道路利用者の安全性確保を優先し、交差点部など必要最小限しか行えず、適正管理の観点からは改善すべき点が多い。 	① 執行体制の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・性能規定による植栽管理の範囲を街路樹まで含めることを検討し、良好な沿道景観の維持を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-ウ	人と環境に優しいまちづくりの推進	施策	⑤公共施設等におけるユニバーサルデザインの推進
			施策の小項目名	○公共施設等におけるバリアフリー化
主な取組	都市公園バリアフリー化支援事業		対応する成果指標	公共施設等のバリアフリー化適合率
施策の方向	・人と環境に優しいまちづくりを推進するため、公共空間等におけるユニバーサルデザインの導入に取り組む。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
高齢者、障害者等が円滑に利用できる園路、広場、駐車場等のバリアフリーに対応した都市公園の整備を行う。	県,市町村	バリアフリーに対応した都市公園の整備推進			
		都市公園のバリアフリー化率			
		36.6%	37.3%	38.0%	
担当部課【連絡先】	土木建築部都市公園課		【 098-866-2035 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		公園費 (社会資本交付金、公共投資交付金)		予算事業名		公園費 (社会資本交付金、公共投資交付金)
主な財源	実施方法	R4年度	R5年度	R6年度		当初予算額
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	
内閣府計上	直接実施	1,393,769	948,040	内閣府計上	直接実施	2,431,020
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
<p>県営都市公園事業において、バリアフリーに対応した園路等の整備を行った。</p>				<p>県営都市公園事業において、バリアフリーに対応した園路等の整備を行う。</p>		
予算事業名		沖縄振興公共投資交付金 (都市公園課市町村事業)		予算事業名		沖縄振興公共投資交付金 (都市公園課市町村事業)
主な財源	実施方法	R4年度	R5年度	R6年度		当初予算額
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	
一括交付金 (ハード)	その他	426,591	596,080	一括交付金 (ハード)	その他	854,842
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
<p>県は、市町村都市公園事業に対して、バリアフリーに対応した園路等の整備を行うための補助を行った。</p>				<p>県は、市町村都市公園事業に対して、バリアフリーに対応した園路等の整備を行うための補助を行う。</p>		

活動指標名	都市公園のバリアフリー化率		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	34.7%	40.0%	39.6%	37.3%	100.0%	順調	<p>県営都市公園事業において、バリアフリーに対応した園路等の整備を行った。また、県は、市町村都市公園事業に対して、バリアフリーに対応した園路等の整備を行うための補助を行った。</p>

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>令和5年度の取組により、都市公園のバリアフリー化率は39.6%となり、目標値の37.3%を上回ったことから、取組の進捗は「順調」と判断した。なお、高齢者、障害者等が円滑に利用できるようバリアフリーに対応した園路、広場、駐車場等を整備をしたことにより、利用者の利便性向上が図られている。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
<p>○ バリアフリー化施設の優先度を勘案して、利用者の多い公園や利用頻度の高い施設を選定するほか、老朽化した施設の改築、更新も含めて勘案しながら、引き続き効率的かつ効果的に整備を推進する。</p> <p>○ 施工方法や施工時期について、引き続き早期に地元等の関係者との合意形成を図り、協力を得ながら事業を推進する。</p>	<p>○ バリアフリー化への対応については、地元等の関係者と協力しながら、バリアフリー化対応施設の優先度を勘案し、整備を推進した。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	バリアフリーに対応する公園施設の整備のほか、老朽化した公園施設の改築、更新も行っているため、引き続き効率的かつ効果的な整備計画の策定が必要である。
⑦ その他(改善余地の検証等)	施工方法や施工時期について、引き続き早期に地元等の関係者と調整を行い、合意形成を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	バリアフリー化施設の優先度を勘案して、利用者の多い公園や利用頻度の高い施設を選定するほか、老朽化した施設の改築、更新も含めて勘案しながら、引き続き効率的かつ効果的に整備を推進する。
② 連携の強化・改善	施工方法や施工時期について、引き続き早期に地元等の関係者との合意形成を図り、協力を得ながら事業を推進する。